



ニュース 2022年

4

月号

発行日： 2022年 3月 27日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

「屈辱の日」とは ～サンフランシスコ講和条約発効から70年～

みかさきょうかい しゅにんしさい はまさきまさ み
三笠教会 主任司祭 浜崎 眞実

今年2022年は、「サンフランシスコ
講和条約」が発効して70年の節目に
なります。1952年4月28日に、沖縄
の島々と奄美群島そして小笠原諸島は、
日本が同条約に基づいて国際社会に
復帰すると同時に、いわゆる「本土」か
ら切り離され、米軍統治下に
置かれました。その後、沖縄は「復帰」を
目指す中で、1960年代に、4月28日
を「屈辱の日」と表現するようになり
ました。沖縄ではこの日を「屈辱」と
記憶しているのです。ちなみに奄美群島
ではこの日を「痛恨の日」と呼んでいま
す。

「本土」の人の多くは、この日に特別な

関心を示すことはありません。一部の
関心をもつ人たちにとっても、この日は
「敗戦」の年の1945年から続いた
連合国(実質的には米軍)による占領
を終わらせ、日本が再び独立を回復し
た喜びの日と考えています。2013
年4月28日には、日本政府主催で
「主権回復の日」としての記念式典が
開かれました。

それでは、沖縄の人たちが、4月28
日を「屈辱の日」と表現するのはなぜ
でしょうか。日本から切り離されたこと
を「残念」に思っているからでしょうか。
あるいは、沖縄をアメリカに差し出して
独立を回復した日本「本土」を非難して

いるのでしょうか。

「屈辱」は、自然災害によってもたらされるものではありません。人間関係及び社会の仕組みによって引き起こされる感情です。日本から切り離された後、沖縄の歩みを簡単に振り返ってみます。米軍による沖縄統治では、住民の土地を強制的に接收し、基地建設が強行されました。沖縄の人々は、沖縄戦の被害につづき、先祖代々の土地を奪われたうえ、米軍基地が原因で引き起こされる人権無視の事件・事故に苦しめられてきたのです。普天間飛行場の移設地として、選挙や県民投票などの結果で明らかのように、民意の反対を無視するかのようになら、新基地建設が続いています。埋め立ての土砂が投入されている辺野古は、海兵隊基地キャンプ・シュワブに隣接しています。そのキャンプ・シュワブは、1956年に使用を始めました。その同じ年に山梨、岐阜などの第3海兵師団が、現地住民の激しい反対などによって沖縄に移駐されました。このような結果、日本「本土」から切り離された後、沖縄においては基地が増大していきました。一方「本土」の基地負担は減少し、日米安保体制化、高度経済成長を経て、戦後の日本は大きく発展し、繁栄

していきました。つまり1952年4月28日を境に、沖縄を「本土」から切り離し、基地を沖縄に集中させる一方で、「本土」は基地負担を最小限に抑えながら、「平和」と「経済発展」を享受してきたのです。

この状況は今も根本的には変わっていません。沖縄には相変わらず米軍基地が偏在しています。それは何かの必然ではなく「本土」に住む私たちが、沖縄の人たちの意思や権利を無視したうえで、沖縄を切り離し、差別し、基地を押し付けてきたのが原因です。この時点で私たち「本土」の人間は、沖縄に基地を押し付けている加害者であり、差別者です。

以上の文章は、横須賀に異動する前の2017年、「沖縄の基地を引き取る会・東京」が出した「4月28日に想いを寄せて」というメッセージを今年70年という節目に合わせて書き直したものです。「基地の街」との枕詞がつく横須賀で生活し、三笠公園とアメリカ海軍基地の間に位置する三笠教会に所属する皆さまは、沖縄の人たちが「屈辱の日」と記憶している4月28日をどのように考えるのでしょうか。

きょうかいいいんかい
3月の教会委員会

かいさい きょうかいいいんかい ほうこく
3月6日(日)に開催された教会委員会の報告です。

てんれいれき ぎょうじ
I. 典礼暦と行事

はい すいようび だいさい しょうさい
3月 2日(水)灰の水曜日(大斎・小斎)ミサ 10:00

ふくいんせんきょうぶかい
5日(土)福音宣教部会

しじゅんせつだい しゅじつ
6日(日)四旬節第1主日

てんれいぶかい
典礼部会

しじゅんせつもくそうかい
12日(土)10:00 四旬節黙想会

しじゅんせつだい しゅじつ ちくわ
13日(日)四旬節第2主日(地区分けなし)

ねんきょうかいいいんかいほうこくかい
2022年教会委員会報告会

はる ごうどうついでう みかさきょうかいせいどう
19日(土)10:00 春の合同追悼ミサ(三笠教会聖堂)

しじゅんせつだい しゅじつ
20日(日)四旬節第3主日

こうざ であ もりやまし
講座「ナザレのイエスに出会う」(森山師)

しじゅんせつだい しゅじつ
27日(日)四旬節第4主日

ふくいんせんきょうぶかい
4月 2日(土)福音宣教部会

しじゅんせつだい しゅじつ
3日(日)四旬節第5主日

てんれいぶかい
典礼部会

じゅなん しゅじつ ちくわ
10日(日)受難の主日(地区分けなし)

せいもくようび
14日(木)聖木曜日19:00

せいきんようび
15日(金)聖金曜日19:00

ふっかつてつやさい
16日(土)復活徹夜祭19:00

ふっかつ しゅじつ ちく ちく
17日(日)復活の主日 9:00(1~6地区)、11:00(7~13地区)

ふっかつせつだい しゅじつ かも しゅじつ
24日(日)復活節第2主日(神のいつくしみの主日)

ほうこくじこう
II. 報告事項

くのり あきら しんぶさま ぎんしゆく いわ おこな
1. 5月15日(日)九里 彰 神父様 銀 祝ミサ・お祝い を行います。

よこすかししゅっしん かいしさい
(横須賀市出身・カルメル会司祭)

きょうかいいいん こうたい
2. 教会委員の交代

こうたい おかもとやすこ つるおかけいこ さかもと
交代:岡本靖子、鶴岡恵子、酒本リサ

しんいいん いとうともみ ふくいんせんきょう おくむらしゅうこ ふくいんちよう
新委員:伊藤智未(福音宣教)、奥村修子(副委員長)、

さこう てんれい
酒匂みづほ(典礼)

しんいいんちよう いちききょうこ
新委員長:市来京子

にちようび じ む つるおかけいこ みやもときよみ
3. 4月から 日曜日の事務は、鶴岡恵子さんと宮本清美さんに、
きょうかいいいん じ ひ えんていかいしゅうきょうりよくせんけいさん まえかわ えり こ
教会維持費・園庭改修 協力金計算は、前川絵梨子さんと

もりたあきこ ねが
森田明子さんをお願いしました。

のうこつどう かぎ かいへい へいじつ まい
4. 納骨堂の鍵の開閉については、平日もお参りしやすいように、

せつち
デジタルロックを設置しました。

じかいきょうかいいいんかい
次回教会委員会 2022年4月3日(日)11:15から

じゅんせつもくそうかい お
旬節黙想会を終えて

てんれいぶかい いちき
典礼部会 市来

せいどう とも わたし
3月12日(土)10時より聖堂にて「ミサを共にささげる私たち」のテ
どうがしちょう わ あ おこな どうじつ めい さんか
ーマで動画視聴と分かち合いが行われました。当日は30名ほどが参加
よこはまきょうく てんれいいんかい みやうちし おかのし こうわ しちょう
して、横浜教区典礼委員会の宮内師、岡野師の講話を DVD で視聴し、
ご にん わ あ かたち
その後5,6人のグループで分かち合いをしました。このような形で
けんしゅう はじ か なか たが かた あ
研修することも初めてで、またコロナ禍の中、お互いに語り合うことも
よ きかい おも しゅじつ
なかなかできなかつたので、良い機会になったと思います。また主日の
あらた い ぎ かくにん けんしゅう え ねんとう
ミサについても改めてその意義を確認し、この研修で得たことを念頭に、
かくじ さんか おも
各自ミサに参加していくことと思います。

がつ しゅじつ せいしゅうかん
4月の主日と聖週間のミサについて

かながわけん だ えんぼうしそち かいじょ
神奈川県に出されていた、まん延防止措置が 3月21日に解除
げんざい しなひ かんせんしゃすう たかど じょうきょう
されましたが、現在も市内の感染者数が高止まりしている状況で
せいしゅうかん のぞ みつ さ ちくべつ
す。聖週間を除き、もうしばらく密を避け、地区別でミサを
おこな かくにん きょうりよく ねが
行います。ご確認、ご協力よろしくお願ひします。

- 4月 3日(日) しじゅんせつだい しゅじつ
四旬節第5主日
だい ちく だい ちく
第7地区～第13地区
- 4月10日(日) じゅなん しゅじつ えだ しゅじつ
受難の主日(枝の主日)
ちくべつ ひか かつ
※地区別ではありませんが、お控えいただける方は
きょうりよく ねが いた
ご協力お願ひ致します。
- 4月14日(木) せいもくようび しゅ ばん ゆう
聖木曜日(主の晩さんの夕べのミサ) 19:00
ちくべつ
地区別ではありません
- 4月15日(金) きん せいきんようび しゅ じゅなん
聖金曜日(主の受難) 19:00
ちくべつ
地区別ではありません
- 4月16日(土) ふっかつ せい てつやさい
復活の聖なる徹夜祭 19:00
ちくべつ
地区別ではありません
- 4月17日(日) ふっかつ しゅじつ
復活の主日
だい ちく だい ちく
9:00 第1地区～第6地区
だい ちく だい ちく
11:00 第7地区～第13地区
- 4月24日(日) ふっかつせつだい しゅじつ かつ しゅじつ
復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
だい ちく だい ちく
第1地区～第6地区
えいご
英語ミサ 15:00

のうこつどう せじょう
納骨堂の施錠について

ほ ち のうこつどうかんりいいん あ べとしみつ
墓地・納骨堂管理委員 阿部寿満

たび のうこつどういりぐち かぎ りようしゃ りべん こうりよ りようしゃほんにん かいじょう せじょう
この度、納骨堂入口の鍵を利用者の利便を考慮し、利用者本人による解錠・施錠

ほうしき かぎ こうかん
方式の鍵に交換しました。

かいじょう せじょうほう けいじ ひつよう していばんごう のうこつどうけいやくしゃ つうち
解錠・施錠法をドアに掲示し、必要な指定番号は納骨堂契約者に通知してあります。

なお とくていび にちようび しゅんじゅう ついとう ほん かいじょうら かかりいん じっし
尚、特定日(日曜日・春秋の追悼ミサ・お盆)の解錠等は係員が実施します。

していばんごう ひつよう かた たんとうしゃ もう で していばんごう と あつか ちゅうい
指定番号を必要とされる方は担当者に申し出られ、指定番号の取り扱いには注意

りかい うえ きょうりよく ねが
し、ご理解の上ご協力お願いいたします。

福音宣教部会からのお知らせ

福音宣教部会が正式に発足して一年がたちました。教会の年度は、やはり復活祭から復活祭までで見たほうがわかりやすいので、昨年一年を振り返って、2022年の目標を設定し、さらに現状を考えてみたいと思います。

1. 2021年を振り返って

昨年を振り返ってみると、大きくふたつの仕事の区分を設定したことと、とりあえず取り組みやすいことからスタートを切ったということだったと思います。

仕事は、「ナザレの人イエスの神の国を受け継ぐこと(社会の福音化)」と「学びなおし(福音の生涯学習)」のふたつを設定しました。さらに「福音の生涯学習」は「講座の実施」と「基本図書の整備」にわかれます。

結果的には、やはり実行しやすい「学びなおし(福音の生涯学習)」が中心で「社会の福音化」の部門はなかなか手が付けられなかったということになりました。

「講座の実施」は森山信三師講座「ナザレのイエスに会う」と浜崎眞実師講座「学びなおしセミナー」を開設し、多くの方に受講していただきました。やはり「学びなおしのニーズ」はあるのだと思い、2022年度も引きついでいきたいと考えます。

また、「基本図書の整備」については、「基本図書リスト」を設定する作業を行い、図書室の開架の配列を一新しました。ただし、「基本図書」を最終的に整備するためには、今後、必要な図書を購入整備しなければならず、整備完了までには、中長期的な整備作業が必要です。

また、「ナザレの人イエスの神の国を受け継ぐこと(社会の福音化)」をどう企画、実施するのは2022年度以降の課題ですが、新しい体験もすることができました。

「基地周辺土地規制法案学習会」の実施と「イタリア・バザーリア改革学習のDVD上映会」です。

「基地周辺土地規制法案学習会」は、新法案成立により三笠教会の活動、存在が規制対象になる事態に対処して、横須賀弁護士会の呉東正彦氏をお招きしての学習会でした。参加者自体は大変限定的なものでしたが、近隣住民、近隣教会に

よ たいがいてき
も呼びかけての対外的なイベントであった
じじつ じもと うんどうさんかしゃ すうめいごさんか
こと、事実、地元の運動参加者も数名ご参加

ちい かいごう
いただいたことなど、小さな会合ながら、

しゅさいしゃ
主催者として「やればできるんだ」という

いんしやう え きちやう たいけん
印象を得られた貴重な体験でした。

かいかく じやうえい せい
また、「バザーリア改革DVD上映」は聖

どうない はっせい じけん たん はっ たいおう
堂内で発生した事件に端を発する対応で、

ひろ い じもと ちいきかだい
広く言えば「地元の地域課題」だったと

かんが こんご りんきおうへん
考えますが、今後もこのような臨機応変
たいおう もと かのうせい たか
の対応が求められる可能性は高いと
おも
思います。

き ちしゅうへん と ちきせいほうあん
ただ、「基地周辺土地規制法案
がくしゅうかい かいかく じやうえい
学習会」も「バザーリア改革DVD上映」も

あと うんどう
その後のフォローがないと運動にはならな

いので、そのあたりの継続的な対応は今後

かだい かんが
の課題だと考えます。

ねんど もくひやう

2. 2022年度の目標

こんねんど もくひやう どうぜん さくねん ちから い ひと しみ くに
今年度の目標は、当然、昨年あまり力を入れられなかった「ナザレの人イエスの神の国

う つ しゃかい ふくいんか ほんかくてき かんが
を受け継ぐこと(社会の福音化)」を本格的にスタートさせることだと考えています。

ぐたいてき いま なんかい つた つぎ かんが
ただ、具体的には今まで何回かお伝えしてきたような次のようなシナリオを考えています。

まち かだい はあく
① 「わが街ヨコスカの課題」の把握

じもとかだい と く しゃかいうんどう かつどう はあく
② 地元課題に取り組んでいるNPO、社会運動グループと活動の把握

じっさい じもとかつどう さんか たいけんがくしゅう きかく
③ 実際の地元活動へ参加することによる「体験学習」の企画

ぐたいてき まち かだい
さらに具体的には、「わが街ヨコスカの課題

はあく たんじゆんそぼく かだい
把握」は単純素朴に「ヨコスカの課題」が

の しんぶんじやうほう じやうほう よう
載っている「新聞情報」「IT情報」など要

しんぶん も よ けんどう
するに「新聞スクラップ」を持ち寄って、検討

することとしています。

まいつきだい にちやう しゅうかいしつ あつま
毎月第4日曜、集会室にお集りくだ

さい。

わ がつごう
(お詫び:3月号みかさニュース8ページ1

まいつきだい にちやう まいつきだい にちやう
-①の「毎月第3日曜」は「毎月第4日曜」

あやま わ ていせい
の誤りでした。お詫びして訂正します。)

もりやましんぞうしこうざ
森山信三師講座「ナザレのイエスに

で あ まいつきだい にちやう
出会う」毎月第3日曜11時~12時

しゅうかいしつ だい かいかいこうび
集会室、ただし第1回開講日は5月8日

(日)です。

がつごう
(お詫び:3月号みかさニュース9ページ2

だい かい ごと
-①の「第1回は5月15日(日)は、その後

のスケジュールにより「5月8日(日)」となり

ました。)

こうざ ねんど どうよう きやうかい
講座は2021年度と同様ですが、教会

ぜんたい こうれいか たいしよ こんご
全体の高齢化への対処として、今後の

きやうかい すいしんやく わかて かた
教会の推進役となる若手の方、さらには

いま わかもの こうざ き
今ここにいない若者にも講座を聞いてもら

ねが ほっそくとうしよ
いたいとう願いが発足当初からありました。

ねんど さくねんいじょう
2022年度のスタートにあたって、昨年以上
りゅうい こうほう つと
にこのことに留意して広報に努めたいと

かんが
考えています。

3. 「福音宣 教 部 会」の現 状 について

ふくいんせんきょうぶかい ほっそく しゅし
「福音宣 教 部 会」の発足の趣旨をふりか
きょうかい おお やくわりぶんとん
えってみると、教会の大きな役割分担とし
さんか こじん にちじょうせいかつ
て、ミサへの参加と個人の日常生活という
くぶん おも
区分があったと思います。

かみ やくそく こうしん
ミサが「神との約束の更新」だとするなら
はけん もと こじん せいかつ
「ミサの派遣」に基づく個人の生活のなかで
やくそく じっごう
の「ミサの約束の実行」にかかわるのが
ふくいんせんきょうぶかい しごと かんが
「福音宣 教 部 会」の仕事であると考えてス
き
タートを切ったはずです。

きほんてき こじん ぶぶん
基本的には個人にまかされた部分ではある
ぶぶん ひと
けれども、この部分が「ナザレの人イエスの
かみ くに ひ つ ぶぶん
神の国」を引き継ぐ部分であるとするなら、
きょうかい しごと りかい
これもまた教会の仕事であるという理解で
す。

てんれいぶかい しごと たいひ
「典礼部会」の仕事としくみとの対比で
かんが しゅじつ こうせい
考えるなら、主日のミサを構成する

せいかたい しかいしゃ せいたいほうししゃ せいしょ
「聖歌隊」「司会者」「聖体奉仕者」「聖書
ろうどくしゃしゃ さいだんじゅんぴ せいか た もろもろ
朗読者」「祭壇準備、生花その他諸々の
じゅんぴ たいおう かみ くうんどう
準備」に対応した「イエスの神の国運動を
けいしやう しごと こうせい しごと
継 承する仕事」を構成する仕事があるはず
です。

ぶぶん み
まだその部分がわれわれには見えていな
とうめん ひと かみ
いので、当面は、「ナザレの人イエスの神の
くに う つ しかい ふくいんか
国を受け継ぐこと(社会の福音化)」

まな ふくいん しょうがいがくしゅう
「学びなおし(福音の生涯学習)」というお
み

おきなわくしか見えていません。われわれと
ふくいんせんきょうぶかい せいかたい

しては、「福音宣 教 部 会」の「聖歌隊」
しかいしゃ せいたいほうししゃ せいしやろうどくしゃ
「司会者」「聖体奉仕者」「聖書朗読者」に
そうとう しごと こんご とくてい
相当する仕事を今後、特定して、いくつかの
しごと

グループの仕事をはっきりさせたいと
かんが とうめん つぎ についで
考えます。当面は次の日程でやっていま
さんか
すので、ぜひ参加してみてください。

1. 学 習 と 会 議 : 毎 月 第 1 土 曜 10 時 ~ 12 時 (集 会 室)

はまさきしんぶ はな きかくうちあわ
浜崎神父の話しと企画打合せ

2. 打 合 せ と 作 業 : 毎 月 第 4 日 曜 11 時 (集 会 室)

まち かだい がくしゅう
「わが街ヨコスカの課題」を学習しています。

かだい じょうほう も よ
「ヨコスカの課題」がわかる情報スクラップを持ち寄りください。



みち
「エマオへの道」

ふっかつ いわ きょうかい こ かたがた え おく
ご復活のお祝いに教会へ来られない方々へ絵はがきにして送らせていただきました。

ほうもんかつどう かい
訪問活動の会